



「赤ちゃんけろっとスイッチぬいぐるみ」とは？

ぐずり泣きしている赤ちゃんの気分を切り替えるメロディや楽しいサウンドが入ったぬいぐるみです。赤ちゃんが泣いているとき、すぐに抱き上げてあやしてあげたいものですが、でも、すぐに抱き上げられないときや、ぐずり泣きで困っているときのおうちの方のサポートグッズとして開発しました。お困りのときにお使いください。

まだ言葉を発しない赤ちゃんにとって、「泣く」ことは自分の気持ちを伝えるための手段の一つです。空腹・眠気・痛みなどの生理的な要因、または単に機嫌が悪くて泣いているなど、その原因は様々です。まずは生理的に満たされているかどうかチェックしてみましょう。生理的要因で泣いている場合には、その要因を取り除いてあげてください。

この「赤ちゃんけろっとスイッチぬいぐるみ」は生理的要因で泣いている場合、気分を切り替える効果はありません。ぐずり泣きでお困りのときには、「赤ちゃんけろっとスイッチぬいぐるみ」のメロディと合わせてコミュニケーションをとってみましょう。気分切り替えの効果があります。

※効果には個人差があります。

ぐずり泣きで困ったときのコミュニケーション方法

① ゆっくり深呼吸

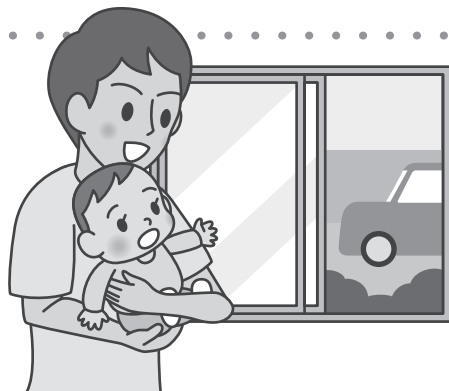
大人のリラックスは赤ちゃんにも伝わるものです。窓を開けて外の空気をいっぱい吸いましょう。ゆっくり深呼吸すると自然と気持ちも落ち着きます。ゆったりとした気持ちで、窓の外を見てみましょう。「車だね」「お花きれいだね」と一緒に見るとおうちの方も赤ちゃんもリフレッシュします。

② 楽しく愉快地にリズムをとって

おうちの方自身が楽しい気分になることで、赤ちゃんにも楽しい気持ちが伝わります。赤ちゃんの好奇心が「けろっとスイッチ」のメロディに向いているときに、メロディに合わせて、赤ちゃんの手をにぎって軽く動かしてリズムをとってみたり、おうちの方が首を揺らして見せたりしてみましょう。

③ 楽しい気分作りを

おうちの方がぬいぐるみを持って赤ちゃんに見せながらおはなし遊びをしてみましょう。「〇〇ちゃん、こんにちは」、「げんきかな〜？」など語り掛けに積極的にぬいぐるみをつかってあそぶことで赤ちゃんの気持ちも楽しくなってくるでしょう。



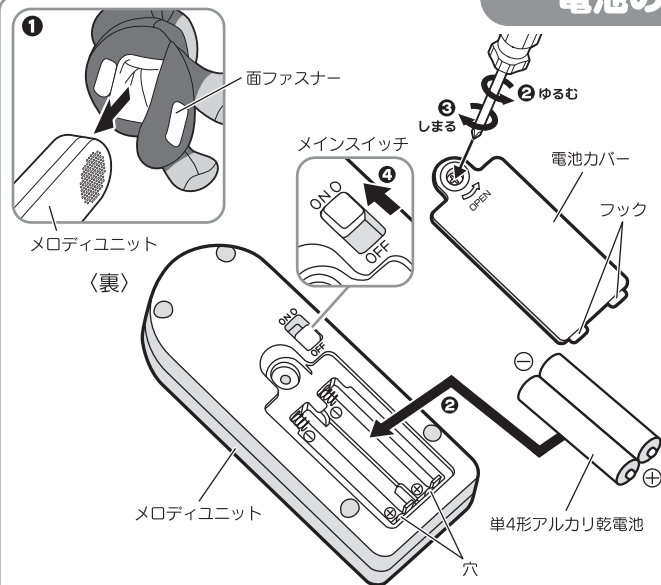
赤ちゃんの好奇心をひきつける音のビックリ箱

赤ちゃんは、大人に比べ非常に強い好奇心があります。この商品に収録されている「**赤ちゃんけろっとメロディ**」は、赤ちゃんの聴覚特性と音への好奇心をうまく結びつけるよう、**楽器構成、テンポ、効果音**、その他の音響要素をバランスよく盛り込んだものです。ぐずり泣きをしているとき、このけろっとメロディに好奇心をもっていくことで、気分を切り替えようというのが「**赤ちゃんけろっとスイッチぬいぐるみ**」のねらいです。



日本音響研究所 所長 鈴木 創 先生

電池の入れ方



- ぬいぐるみ底面の面ファスナーをはずして、メロディユニットを取り出します。
 - メロディユニットの電池カバーのネジをプラスドライバーで矢印の「ゆるむ」の方向に回し、電池カバーを外します。単4形アルカリ乾電池2本の＋（プラスマイナス）を間違えないように、マイナス側から正しくセットします。
 - 電池カバーのフックを穴に入れて閉じ、プラスドライバーで矢印の「しまる」の方向に回し、ねじをしっかり締めてください。
 - すぐに遊ぶ場合は、メインスイッチをONにします。
 - 操作ボタンがおなか側にくるようにしてメロディユニットをぬいぐるみの中に戻し、面ファスナーでしっかりと閉じます。メロディユニットの表裏を間違えないように入れてください。
- ※遊ばないときはメインスイッチをOFFにしてください。

遊び方

サウンドモード (赤ちゃんがご機嫌なときに…)

普通押し



ぬいぐるみのおなか部分の操作ボタンを押すと、赤ちゃんがよく反応する8種類のたのしい効果音や音楽（童謡）が流れます。音楽再生中にもう一度操作ボタンを押すと、止めることができます（効果音は止まりません）。押すたびに違う音がでます。

効果音

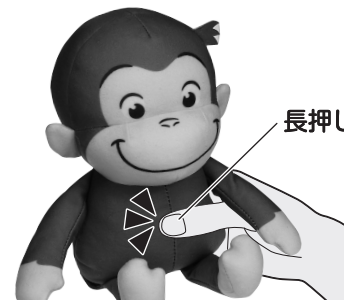
- ・ ジョージの声 ・ ドライヤー ・ 洗濯機
- ・ TVのノイズ ・ インターフォン
- ・ 水の音 ・ 拍手 ・ ビニール袋の音

音楽 (童謡)

- ・ ちょうちょう

けろっとメロディモード (赤ちゃんがぐずったときに…)

長押し



ぬいぐるみのおなか部分の操作ボタンを長押し(約2秒)すると、けろっとメロディが流れます。音楽再生中に途中で止めたいときは操作ボタンを押すと止まります。再度長押しすると、けろっとメロディの2曲目が流れます。

けろっとメロディ

- ・ きらきら星
- ・ ぶんぶんぶん

赤ちゃんとのコミュニケーション

赤ちゃんは、おなかの中にいるときから、お母さんの血流、心音、肺の音などいろいろな音を聞いています。生まれたあとも、おなかにいたときの音に似た音を聞かせると赤ちゃんの気を引いたり落ち着かせたりすることが分かっています。この商品は、それに似た効果音や、楽しい音楽、そして「けろっとメロディ」を収録したものです。赤ちゃんがぐずりだしたとき等に聞かせてあげると、気分を切り替えたり楽しくなったりすることが期待されます。この商品の音で赤ちゃんの気を引いたら、やさしく話しかけ楽しい気持ちをさらに充実させてあげてください。



東京大学名誉教授 汐見 稔幸 先生